の

村西空手道部通信　第２号（令和５年６月８日）

**【中学生が参加】**

6月3日（土曜日）の練習には中学生が参加してくれました。前日の大雨が収まっていないにも関わらず、それぞれの道場から3人の中学生に参加していただき本当にありがとうございました。

できたばかりの小さい部活にとって、中学生の参加はがぜん雰囲気が盛り上がります。全員で仲間意識を共有できたような気がします。早くも来年の団体戦の順番を考える子もいました。このように多くの中学生が気軽に参加していただければ嬉しく思います。また、道場の先生方にも本校を練習の場としてご活用されるなら心から歓迎します。一緒に練習しましょう。

**【外国人も参加】**

当日は、ハンガリーの形のチャンピオンも本校で自主練習をしてくれました。最初のトレーニングを子供たちと一緒に行った後、ご自身で形の練習を丁寧にやっておられました。せっかくなので、生徒に形を披露してほしいとお願いすると、快く演武してくれました。生徒はみな大喜びです。何しろ、世界一流の形を目にすることができたのですから。このような機会を提供してくださった方々には、この場を借りて心からお礼申し上げます。ハンガリーの選手は今週土日に福岡で開催されるプレミアリーグに参加するために2週間前から日本に滞在していたそうです。世界のチャンピオンを目指しているとのこと。東京から生徒とともに応援します。

**【東京都選手権】**

6月4日（日）、東京武道館で東京都選手権が開催されました。高校生（少年）の部で本校からは岡部君と小野君の２名が組手の部に出場しました。勝ち進めば少年の部で国体への道が開ける大会です。そのため、高体連の公式戦とは違った緊張感があります。岡部君は初戦に強力な相手との戦いとなり惜しくも敗退しましたが、小野君は2回戦へと進みました。2回戦では世田谷学園の３年生が相手です。結果、敗れはしましたが今後につながる大きな成果だったと思います。2人とも6月17日（土）、18日（日）のインターハイ予選に向けて自信をつけることができたと思います。

**【71歳のデビュー戦】**

東京都選手権では同時にマスターズの東京都予選が開催されました。あろうことか、私も71歳にしてマスターズ予選にデビューしました。形と組手の部に参加させていただきましたが、対戦していただいた方々はと輝く実績のある方々ばかり。特に、組手の相手をしてくださった方は、この部では全国大会9連覇している誰もが知る有名な方だそうです。そんなことはつゆ知らず。無知ほど怖いものはありません。当日にそれを知ってしまうと、体が私よりはるかに大きく、整列したときの落ち着いた風貌に圧倒されてしまいました。どうにか終了まで試合をさせていただいたのが精いっぱいの組手でした。

デビュー戦で一番困ったことは安全具の付け方が分からなかったことです。特に、シンガード（脛をガードする用具）やインステップガード（足の甲をガードする用具）はどう装着するのか？　私は北海道育ちですが、うちで飼っていた農耕馬につけるハーネス（馬具）を連想しました。もっとも目的は全く違いますが。

試合が終了すると見知らぬ女性（選手の１人）から励ましの言葉をいただきました。なんでも、9連覇しているその方があまりに強いので参加を見送る選手もいるのだとか。いやはや、すごい選手と組手をしたものだとしみじみ思いました。

収穫は自分の目標が明確になったことです。部活動を軌道に乗せるためでもありますが、来年もチャレンジしたいという闘争心が鮮明に浮き出てきました。私の強みは部員（高校生）という仲間ができたことです。高校生の動きは俊敏です。この仲間と練習すればきっと成果が出るはず。来年がとても待ち遠しくなりました。